

学長定例記者会見要項

日 時： 平成30年11月8日（木） 11：00～11：45
場 所： 法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

発表事項

1. アイルランド大使をお迎えして学長特別講演会を開催
2. 秋のレビュー開催に向け、学生デザインのポスター完成
～「山形レビュー in 山形大学」11月17日開催～
3. 山形大学の研究紹介 量子コンピュータの能力の源を探る
～制約を回避して本来の能力を発揮～
4. 映画『闘牛』上映会とワークショップの開催
～ フランスの映画批評家アンドレ・バザン研究に触れるイベント ～
5. 第46回山形大学模擬裁判公演のお知らせ
～ 裁判劇で過労死問題を考える ～

お知らせ

1. 科学で東北を盛り上げ隊@石巻を開催します
2. 保健管理センター公開講座のご案内
3. 山形大学農学部研究シーズ説明会・ビジネスマッチを開催します
4. 庄内スマート・テロワール豊穰感謝祭を開催します
5. 山形在来作物研究会公開フォーラム2018開催のお知らせ
6. 講演会『「はやぶさ2」のすべて』を開催します
7. 大学入学共通テスト導入に向けた平成30年度試行調査（プレテスト）の取材について
8. やまがた夜話の開催について

（参 考）

- 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：平成30年11月22日（木） 11：00～11：45
場 所：法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

学長定例記者会見（11月8日）発表者

1. アイルランド大使をお迎えして学長特別講演会を開催

学長

こやま きよひと
小山 清人

2. 秋のレビュー開催に向け、学生デザインのポスター完成 ～「山形レビュー in 山形大学」11月17日開催～

学術研究院 教授（企画評価、IR担当）

地域教育文化学部4年

あさの しげる
浅野 茂
くまがい なな
熊谷 菜々

3. 山形大学の研究紹介 量子コンピュータの能力の源を探る ～制約を回避して本来の能力を発揮～

学術研究院 准教授（情報科学）

なかにし まさき
中西 正樹

4. 映画『鬪牛』上映会とワークショップの開催

～ フランスの映画批評家アンドレ・バザン研究に触れるイベント ～

学術研究院 准教授（映画研究、表象文化論）

人文学部人間文化学科3年

おおくぼ きよあき
大久保 清朗
おかだ さなこ
岡田 真子

5. 第46回山形大学模擬裁判公演のお知らせ

～ 裁判劇で過労死問題を考える ～

人文学部3年（模擬裁判実行委員会第46代委員長）

人文学部3年（同委員会第46代副委員長）

人文社会科学部2年（同委員会第47代委員長）

すずき ゆうすけ
鈴木 優介
たかせよういちろう
高瀬陽一郎
こばやし ゆうすけ
小林 優恭

平成30年（2018年）11月8日

駐日アイルランド大使をお招きして学長特別講演会を開催

【本件のポイント】

- 山形大学の3つの使命「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を発信するため、シリーズで開催している学長特別講演会の第13回目
- 講師は駐日アイルランド大使ポール・カヴァナ閣下で、大使就任以来、大学での講演は初めて（山形県への訪問も初めて）
- テーマは「アイルランド、欧州連合と日本」



【概要】

山形大学では、3つの使命「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を発信するため、学長特別講演会をシリーズで開催しています。各界で活躍している著名人を講師に、「山形から世界に通用する技術やプロダクト・学術研究をどんどん生み出そう。そして、山形を元気にして地方創生につなげよう。」というコンセプトのもと、平成27年(2015年)度から開催しているもので、今回で13回目。講師には、駐日アイルランド大使ポール・カヴァナ閣下をお迎えします。「アイルランド、欧州連合と日本」というテーマで、イギリスの欧州連合離脱で注目の集まるアイルランドについて、また、日本との関係や日本の若者に期待することなどをお話しいたします。

【第13回学長特別講演会】

テーマ：「アイルランド、欧州連合と日本」※通訳あり

日時：平成30年11月27日（火）16:30~18:00

場所：山形大学小白川キャンパス C1（人文社会科学部1号館）301教室 ※参加無料（要申込）

【講師プロフィール】

駐日アイルランド大使 ポール・カヴァナ閣下（H.E. Mr. Paul Kavanagh）

1977年アイルランド国立大学ダブリン校で文学士号を取得（現代史・フランス語）。アイルランド防衛省、外務省を経て、国際連合アイルランド政府代表部大使（2007-2009）等を歴任。国際連合総会議長の指名により、開発途上国援助改革の共同議長も務めた。2009年からは、フランス、中華人民共和国、アラブ首長国連邦等で在駐のアイルランド大使として活躍し、2018年より現職。1956年生まれ。

【過去の開催状況】 <https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/university/president/lecture/>

第12回（H30.7.9）小池淳義氏（ウエスタンデジタルジャパン・プレジデント）

第11回（H30.4.16）藤本隆宏氏（東京大学ものづくり経営研究センター長・東京大学大学院経済学研究科教授）

第10回（H29.11.6）グレン・S・フクシマ氏（米国先端政策研究所上級研究員）

第9回（H29.10.25）加藤 宏 氏（独立行政法人国際協力機構(JICA)理事）

第8回（H29.6.29）赤坂清隆氏（公益財団法人フォーリン・プレスセンター理事長、元国連事務次長）

第7回（H29.1.17）竹内佐和子氏（文部科学省顧問、前パリ日本文化会館館長）

第6回（H28.10.11）石川博紳氏（三井物産株式会社顧問）

第5回（H28.7.11）丸 幸弘氏（株式会社リバネス代表取締役 CEO）

※役職は当時のものです。

詳細はホームページ
をご覧ください。



お問い合わせ

総務部広報室（菅井）

TEL 023-628-4008

メール koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

第13回

山形大学学長講演会シリーズ

～山形から世界へ～

アイルランド、 欧州連合と日本

ポール・カヴァナ閣下特別講演

日時

2018年11月27日(火)

16:30-18:00

会場

小白川キャンパス
人文社会科学部1号館3階301教室

お問い合わせ・お申し込みは

山形大学総務部広報室
TEL.023-628-4010

お申込みメールの
作成はこちら



※入場無料、事前申込が必要です

講師



駐日アイルランド大使

H.E. Mr. Paul Kavanagh

ポール・カヴァナ閣下

山形大学 学長特別講演会



「山形から世界に通用する技術やプロダクト・学術研究を
どんどん生み出そう。そして、山形を元気にして地域創生に
つなげよう」というコンセプトを広く発信し、定着させるため、
学生、教職員、高校生、一般市民を対象とした学長主催の
特別講演会を定期的を開催しています。

第13回講演会

「アイルランド、欧州連合と日本」

講師 H.E. Mr. Paul Kavanagh (ポール・カヴァナ 閣下)
【駐日アイルランド大使】

1977年アイルランド国立大学ダブリン校で文学士号を取得（現代史・フランス語）。アイルランド防衛省、外務省を経て、国際連合アイルランド政府代表部大使(2007-2009)等を歴任。国際連合総会議長の指名により、開発途上国援助改革の共同議長も務めた。2009年からは、フランス、中華人民共和国、アラブ首長国連邦等で在駐のアイルランド大使として活躍し、2018年より現職。1956年生まれ。



参加申込について

氏名(ふりがな)、年齢(学生は学部・学科)を
記入し、下記までメールでご連絡ください。

送信先: 山形大学広報室
koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

交通・会場ご案内

JR山形駅下車、バスで約10分
※駐車場がございません。山形大学シャトルバス
か公共交通機関をご利用下さい。



平成30年（2018年）11月8日

秋のレビュー開催に向け、学生デザインのポスター完成 ～「山形レビュー in 山形大学」11月17日開催～

【本件のポイント】

- 平成30年の秋の年次公開検証（秋のレビュー）の一部として「山形レビューin 山形大学」を11月17日（土）に開催（地方開催は大阪、徳島に次いで3回目、東日本では初めての開催）。
- 告知のためのポスター及びチラシのデザインを本学学生（地域教育文化学部4年 熊谷菜々さん）が担当。
- 山形レビューは、本学学生のみならず、一般市民、自治体関係者の皆様にもご参加いただけるよう関係各所の協力を得て、広く周知。

＜山形レビューの告知ポスター及びチラシ＞



【概要】

政府が行う「行政事業レビュー」の一部として行われている年次公開検証（秋のレビュー）が、今年は、山形大学を会場に開催されます。この機会に、学生をはじめ、県内の若者にも関心をもってもらうため、地方開催では初の試みとして、学生がデザインした告知ポスター・チラシを作成しました。担当したのは、地域教育文化学部4年 熊谷菜々さんで、行政事業レビューのホームページや地方開催で取り上げられたテーマ等を参考にしながら、学生や若者をイメージしたイラストなどを盛り込んでいます。

レビューの詳細については、11月9日（金）の閣議後会見において、宮腰光寛大臣（行政改革担当）が発表される予定ですが、当日は、政府の行政改革や行政事業レビューへの理解を促進するための公開シンポジウムも予定されており、多くの県内の若者や一般市民の参加を期待しています。

【山形レビュー in 山形大学の概要】

日 時： 平成30年11月17日（土） 10：00～11：30 公開シンポジウム
13：00～16：00 山形レビュー

場 所： 山形大学小白川キャンパス基盤教育2号館221教室

参加費： 無料

定 員： 120名

申込方法： 専用申込フォームより事前登録制 ※スマートフォンまたはパソコン等からアクセス可能。

【今後の予定】

- ・11月9日（金）に宮腰光寛大臣（行政改革担当）が報道関係者向けに、詳細な日程及び公開検証の対象事業を発表予定。

お問い合わせ 学術研究院教授（企画評価、IR担当） 浅野 茂
TEL 023-628-4189 メール asano@cc.yamagata-u.ac.jp

東日本初開催 平成 30 年秋の年次公開検証

山形レビュー

in 山形大学

参加も歓迎!!
一般市民、自治体関係者の



国の事業を公開検証
集え、公務員を目指す君!



日時

平成 30 年
11 月 17 日 (土)

10:00~11:30 公開シンポジウム
13:00~16:00 山形レビュー

会場
入場無料

山形大学
小白川キャンパス
基盤教育 2 号館 221 教室

(山形市小白川町 1-4-12)

秋の年次公開検証

国の施策がどのように評価・検証され、新しい施策へと繋がっているのか、有識者と各府省庁との白熱した議論をリアルタイムで傍聴できます。

また、地方の声を届ける貴重な機会でもあります。

要申込
定員 120 名

対象 学生、一般市民及び自治体関係者

申込方法 下記の URL・QR コードにアクセスし、専用フォームからお申込ください。

<https://bit.ly/2RXOSnG>

問合せ先

小白川キャンパス事務部総務課
(kjkacho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)



主催 内閣官房行政改革推進本部事務局
協力 山形大学

東日本初開催 平成30年秋の年次公開検証

山形レビュー

in 山形大学



日時

平成30年11月17日(土)

スケジュール

- 10:00～11:30 公開シンポジウム
- 13:00～13:20 行政改革担当大臣 宮腰光寛 氏
小山清人 山形大学長
- 13:20～16:00 公開検証

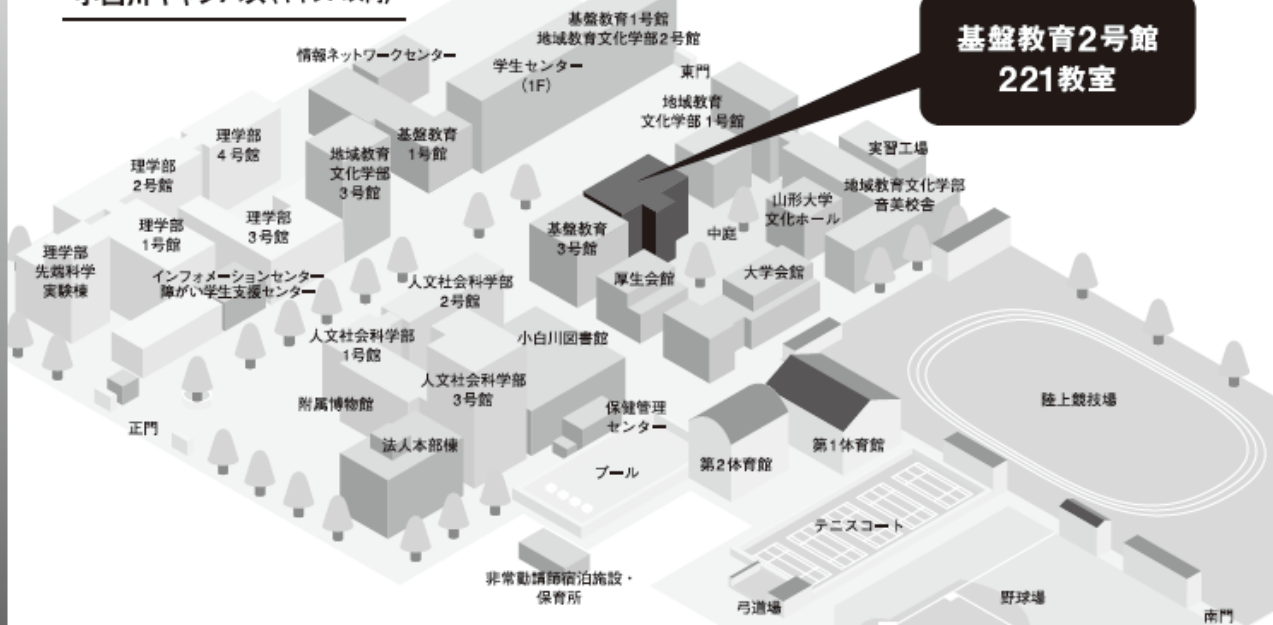
会場案内

山形大学 小白川キャンパス

- ▶ JR山形駅東口から、東方へ約2.3km
- ▶ 山形大学シャトルバス「山形駅前」乗車→「小白川キャンパス」下車(所要時間約8分)(料金:片道100円)
※土・日・祝日・年末年始及び大学休業期間中は運休
- ▶ 市内循環バス「ベニちゃんバス」
【東くるりん/東原町先回りコース】乗車→「山大前」下車(所要時間約10分)、そこから徒歩1分
- ▶ JR仙台駅前から高速バス
【仙台～山形線】乗車→「南高前・山大入口」下車(所要時間約60分)、そこから徒歩5分
- ▶ 空港シャトル(山形市内)
【山形空港】乗車→「南高前・山大入口」下車(所要時間約35分)、そこから徒歩5分



小白川キャンパス(キャンパス内)



基盤教育2号館
221教室

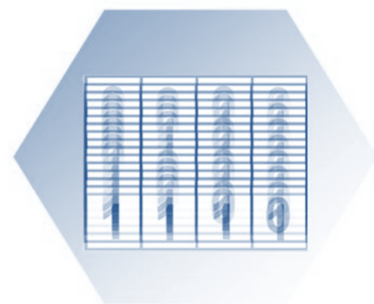
山形大学の研究紹介

平成30年（2018年）11月8日

量子コンピュータの能力の源を探る ～制約を回避して本来の能力を発揮～

【本件のポイント】

- 次世代のコンピュータとして注目されている量子コンピュータについて、制約のある状況下でもその能力を引き出す手法について研究。
- 量子コンピュータの能力の源がどこにあるのか、また、どのような状況が量子コンピュータにとって能力を発揮するのに適しているのかを探る。
- 量子コンピュータによる情報処理は、今後の発展が見込まれるAIやセキュリティ等の様々な分野に応用が可能。



【概要】

量子力学の世界では、直感では理解できないような不思議な現象が起こります。そのような特徴ある世界の枠組みで構成されたコンピュータが量子コンピュータであり、従来とは全く異なる方法で情報を処理しています。この特徴により、通常のコンピュータよりも遥かに高速な処理を行うことができますが、量子力学の性質上、その操作には様々な制約が課され、量子アルゴリズムの開発（量子コンピュータ向けのプログラム開発）を困難にしています。中西正樹准教授は、使用できるメモリに制約が課される状況下でも、その制約を回避して量子コンピュータの能力を引き出すための手法の開発に取り組んでいます。この研究は、量子コンピュータが得意（あるいは不得意）とする状況を明確にすることになり、不明な点が多く残っている量子コンピュータの能力の源を突き止めることにつながります。

【背景】

量子コンピュータは従来の（私たちが普段使用している）コンピュータよりも遥かに高速に処理を行うことができます（図1）。近年のAIの発展とも相まって、量子コンピュータの高速処理に対する期待は年々高まりつつありますが、その能力については、まだ不明な点が多く残っています。実際、量子力学の枠組みで構成されるコンピュータであることから、その動作には量子力学上の様々な制約が課され、状況によっては、その性能を十分に発揮できないことが知られています。例えば、量子コンピュータの処理は「元に戻すことができる処理（可逆な処理）」に限定されるため、データを消去するといったことでさえ簡単には行うことができません（図2）。このことは、計算の途中経過を記録するためのメモリの不足やメモリアクセス方法の制約により、量子コンピュータの性能が極端に落ちてしまう場合があることを意味します。したがって、そのような制約がある状況下でも、量子コンピュータを効率的に動作させるための手法が求められています。また、この手法を開発することは、量子コンピュータが能力を発揮できる状況を明確にすることにもなり、その能力の源を解明することにつながります。

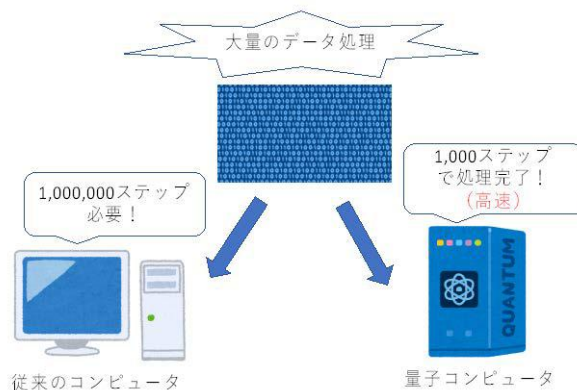


図 1



図 2

【研究手法・研究成果】

量子コンピュータのメモリに対する様々な制約により、量子コンピュータ本来の能力を発揮できない状況が起こります。この制約を詳しく解析することで、量子コンピュータの能力の解明や、量子コンピュータの効率的な使用法につながる可能性があります。

通常のコンピュータでは、メモリに計算の途中経過を一時的に保存し、後にその結果を再び読み出すことで計算を続行します。つまり、メモリには「書き込む」操作とともに、「読み出す」操作が必須となります。ところが、量子コンピュータではデータを書き込めるものの、その後、書き込んだデータを一切読み出せない「書き込み専用メモリ」が有効になる場合があることが知られています（通常、データを読み出せない「書き込み専用メモリ」は全く役に立ちません）。研究成果の一つとして、そのような「書き込み専用メモリ」を付加することで、特定のメモリアクセスの制約を回避し、メモリをある程度自由に操作できることを発見しました（図3）。また、この手法を用いることで、そのような量子コンピュータが同条件の従来のコンピュータに比べてより能力が高くなることを数学的に証明しました。「書き込み専用メモリ」という本来は役に立たないはずのメモリが、量子コンピュータの能力に本質的な影響を与えるというのは興味深い結果です。

この他にも、書き込み専用メモリだけでなく、量子コンピュータの様々なメモリアクセスに関する課題について、海外の研究機関と共同で研究を進めています。

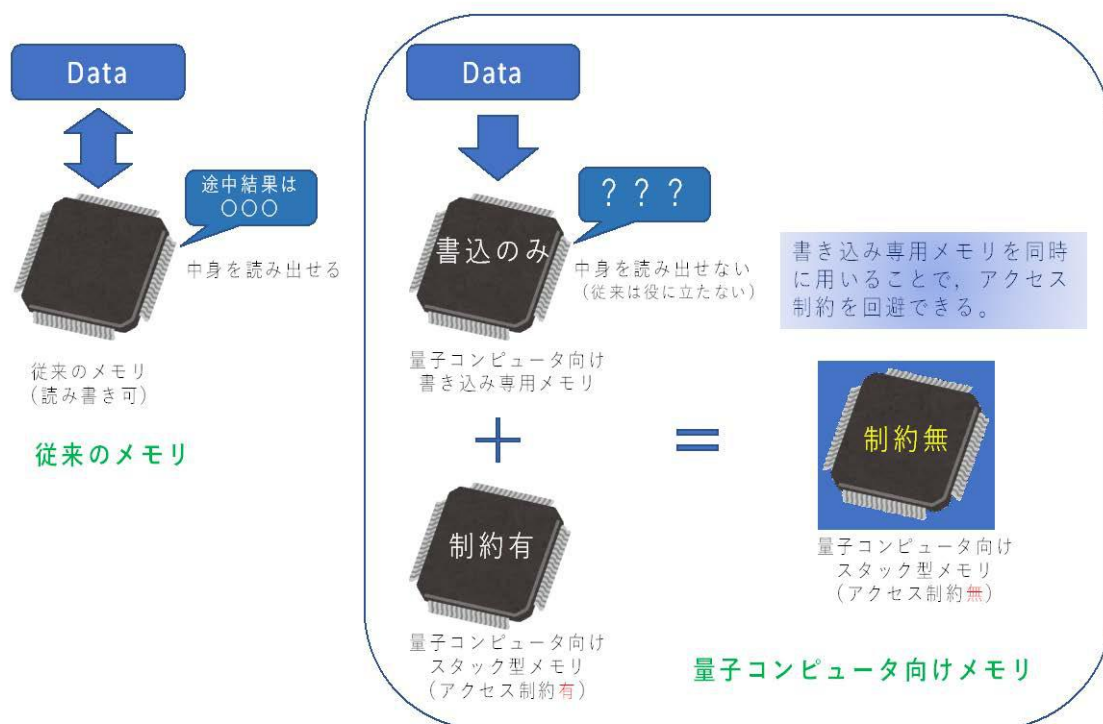


図 3

【今後の展望】

この研究はメモリに関する制約のある量子コンピュータを効率的に使いこなすための手法の開発と、それを通して量子コンピュータの能力の本質を解明するものです。実現初期段階の量子コンピュータは扱うことができるメモリの量やメモリアクセスの方法に制約が課されることが予想されますが、中西准教授らの研究はそのような状況下でも量子コンピュータの能力を引き出すことができることを示唆しています。今後の研究により、実現初期段階の量子コンピュータでも従来のコンピュータに比べて十分な高速化が可能になり、また、量子アルゴリズム開発（量子コンピュータ向けのプログラム開発）を容易にする様々な技術が考案されると期待されます。

近年の AI の発展により、ビッグデータの解析に伴うデータの高速処理は益々重要度を増すこととなりますが、その中で量子コンピュータの可能性は大きな魅力と言えます。

本研究の一部は、科研費および旭硝子財団の助成を受けて行われました。

お問い合わせ
学術研究院 准教授 中西正樹 (情報科学)
TEL 023-628-4428 メール m-naka@e.yamagata-u.ac.jp

平成30年（2018年）11月8日

映画『闘牛』上映会とワークショップの開催 ～フランスの映画批評家アンドレ・バザン研究に触れるイベント～

【本件のポイント】

- バザン生誕100年を記念し、バザンが高く評価したドキュメンタリーを上映し、上映後、文学・映画研究者たちのワークショップを開催
- 上映作品『闘牛』が日本語字幕付きで上映されるのは日本初。字幕制作には、人文社会科学部の学生が協力
- ユネスコ創造都市やまがたとして、山形から映像文化の推進事業を全国に向けて発信していく



【概要】

アンドレ・バザンは、フランスの映画批評家で、ヌーベルバーグ（1950年代後半から1960年代前半にかけてのフランスで商業映画に束縛されず自由な映画制作を行った若手グループの映画）の作家たちにも大きな影響を及ぼしたことが知られています。山形大学人文社会科学部では、彼の批評を総合的に再検討するために、2016年に映像文化研究所内にアンドレ・バザン研究会を設置し、研究を進めてきました。このたび研究会では、今年度生誕100年、没後60年を迎えたバザンの記念イベントとして、彼が評価しながら、日本では公開されてこなかったドキュメンタリー映画『闘牛』の上映イベントを企画しました。上映後は、フランス文学研究者であり、映画にも造詣の深い谷昌親さんが解説を行うほか、同じくフランス文学者の千葉文夫さん、映画研究者でありバザン研究会の会員である角井誠さんと本学の久保清朗准教授による発表、ディスカッションを行います。

【背景】

近年、日本では『映画とは何か』の新訳が岩波文庫から刊行されたほか、未訳だった『オーソン・ウェルズ』（インスクリプト）とさらに野崎敏『アンドレ・バザン——映画を信じた男』（春秋社）（いずれも2015年刊行）とバザンに関する著作が活況を呈しています。2016年に発足したアンドレ・バザン研究会もこうした機運をさらに推進するべく研究会誌『アンドレ・バザン研究』をこれまで2号刊行してきましたが、バザンの著作はもちろん、バザンが論じた映画が日本で見られなくては元も子もありません。今回、数ある現存の日本未公開作品のなかから、バザンの重要な論考「すべての午後の死」で論じられた『闘牛』を上映することにしました。

【映画『闘牛』上映会とワークショップ】

ドキュメンタリー映画『闘牛』をめぐっては、バザンは「すべての午後の死」という美しい論考を残していますが、日本での公開はありませんでした。上映にあたり、日本語の字幕制作に人文社会科学部の学生たちが協力しました。本作品が日本語字幕付きで上映されるのは日本で初めてです。

なお、本イベントは前日（11月10日）に人文社会科学部で開催される表象文化論学会の第13回研究発表集会の関連イベントとしても位置づけられています。

- ◆日時：2018年11月11日（日）午前10時から午後2時半まで
- ◆内容：映画『闘牛』上映
映画解説（谷 昌親）
ワークショップ発表（久保清朗、千葉文夫、角井 誠）
ディスカッション・質疑応答
- ◆場所：山形大学小白川キャンパス C1（人文社会科学部1号館3階301教室）
- ◆入場無料、事前申し込み不要

お問い合わせ

山形大学学術研究院 准教授 久保清朗（映画研究、表象文化論）
TEL 023-628-4227 cahiersandrebazin@gmail.com

【今後の展望】

山形大学人文社会科学部附属映像文化研究所では、今回のような企画を通じて、活動をより広くアピールするとともに、山形国際ドキュメンタリー映画祭などと協力しながら、商業的な公開活動とは一線を画した文化事業として、上映活動を推進します。そのことによって、山形の映像文化の発展に貢献したいと考えています。

【特記事項】

本研究は、科学研究費助成事業（科学研究費補助金）・基盤研究（B）「アンドレ・バザンの映画批評の総合的再検討」（研究代表者：大久保清朗、課題番号：17H02299）の支援を受けています。

※用語解説

1. ユネスコ創造都市やまがた：2017年、山形市はユネスコ創造都市ネットワークの映画分野に加盟した。それを受けて、名称を「ユネスコ創造都市やまがた」として、国内外のネットワークづくりを行っている。
(<https://www.creative-yamagata.jp/>)
2. アンドレ・バザン(1918-58)：フランスの映画批評家。1951年に『カイエ・デュ・シネマ』を創刊し、多くの映画批評を執筆。
3. 人文社会科学部附属映像文化研究所アンドレ・バザン研究会：2016年6月に発足。アンドレ・バザンの批評を総合的に再検討することを目的として人文学部（2017年度より人文社会科学部）の附属機関である映像文化研究所内に設置された。山形大学内外の研究者10名で構成。代表は大久保清朗准教授。
(<http://cahiersandrebazin.blogspot.com/>)



Bazin, Leiris,
La course de taureaux

スクリーン上では、闘牛士は、
毎日午後がくるたびに死ぬのである。

—— アンドレ・バザン

表象文化論学会第13回研究発表集会 関連イベント

バザン レリス 闘牛

映画『闘牛』の上映とワークショップ

映画『闘牛』(原題:La course de taureaux, 1951年)について:
映画『闘牛』は、伝説的な映画プロデューサーであり大の闘牛ファンでもあるピエール・ブロンベルジェの監督作品である。
闘牛についての著作も多いミシェル・レリスが、ナレーション原稿を執筆しているという点でも重要な作品である。
映画批評家のアンドレ・バザンも、この作品をめぐって、「すべての午後の死」という美しい論考を残した。

2018.11.11 [SUN] 開場 9:30

入場無料

※申込不要

場所: 山形大学 人文社会科学部棟1号館3階301教室

10:00 ———— 上映前挨拶/大久保

10:05~11:20 — 映画『闘牛』上映 (75分)
小休憩 (10分)

11:30~12:00 — 映画解説 (30分)

『映画の生成変化としての闘牛』
——映画『闘牛』をめぐるA.M.P.M.』 谷 昌親

12:00~13:00 — 昼食休憩

13:00~14:00 — ワークショップ発表 (各20分)

『劇場としてのドキュメンタリー』 大久保 清明

『ミシェル・レリスによる闘牛技, 1937-51年』 千葉 文夫

『『存在論的猥褻さ』をめぐる』
——アンドレ・バザンにおける死の表象』 角井 誠

14:00~14:30 — ディスカッション&質疑応答/谷(司会)、千葉、角井、大久保

お問い合わせ アンドレ・バザン研究会 ✉ cahiersandrebazin@gmail.com

科学研究費学術研究助成基金助成金・基盤研究 (B) 「アンドレ・バザンの映画批評の総合的再検討」(研究代表者: 大久保清明、課題番号: 17H02299)
共催: 表象文化論学会、山形大学人文社会科学部附属映像文化研究所

平成30年（2018年）11月 8日

第46回山形大学模擬裁判公演のお知らせ

～ 裁判劇で過労死問題を考える ～

【本件のポイント】

- 人文社会科学部の学生たちの自主ゼミとして40年以上も続いているもので、裁判所や検察などの専門家の協力のもと、企画から脚本、演出まで学生が担当しています
- 今年のテーマは過労死で、通常は民事裁判として扱われる労働災害を刑事裁判の面から取り扱います
- 1年生から3年生約110人が参加し、2018年1月から裁判劇の準備を進めています



【概要】

山形大学模擬裁判実行委員会は、年に1度「模擬裁判」という裁判劇の公演を行い、研究成果を発表しています。46年目となる今年は、「過労死問題」をテーマに『綻び 過労自殺・・・その死は誰のせい?』を公演します。今年は通常、民事裁判で扱われる労働災害を刑事裁判の面から考えてみます。一体何が争点になり、何が原因で誰が悪いのか。残された遺族の悲しみ、追い込まれる会社、板挟みにあう上司。様々な視点から過労死問題を考えていきます。

【模擬裁判とは】

山形大学模擬裁判実行委員会とは、山形大学人文社会科学部（人文学部）の1年生から4年生を中心に構成される学生の自主ゼミです。年に一度の模擬裁判という裁判劇の公演で研究成果を発表しています。裁判劇を市民の皆様にご覧いただくことで、法律を身近に感じ、その時代が抱える社会問題について考えていただくきっかけを作ることが目的としています。

【今年のテーマは「過労死問題」】

最近では違法な長時間労働による過労死が世間から大きく注目されました。労働災害では多くの場合で民事裁判が行われますが、一部では刑事裁判として扱われ、過労死問題にも新たな進展が生まれることとなりました。そこで46代模擬裁判実行委員会では、過労死問題の真相を深く掘り下げ、過労死事件ではどんな裁判が行われるのかを劇を通してお伝えしたいと考えています。

【公演内容】 綻び 過労自殺・・・その死は誰のせい？

日時：11月28日（水）、29日（木） 18：00開場／18：30開演

場所：山形市中央公民館（az 七日町6階）

料金：前売り券2500円／当日券3000円（高校生以下は無料）

チケット販売：山形大学生協／八文字屋本店 POOL／

※ビールをお持ちいただくと料金が前売り価格になります。



←予告動画はこちらからご覧になれます。

お問い合わせ

山形大学模擬裁判実行委員会 委員長 鈴木優介

メール :yukke563@icloud.com

平成30年11月8日
山形大学

* 詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 「科学で東北を盛り上げ隊！@石巻」を開催

東日本大震災で被災した子ども達に笑顔を届けるため平成23年度から継続して実施している事業で、今回で13回目。山形大学SCITAセンター学生スタッフ、東北大学など多くの団体がブースでの実験、サイエンスショーを実施します。

日 時：平成30年11月18日（日）10：00～15：00

場 所：石巻市 こもれびの降る丘遊楽館（石巻市北村字15-1）

参加費：無料（申し込み不要）

2. 保健管理センター公開講座のご案内

ピロリ菌と胃の病気について、保健管理センターの医師が説明します。一般市民、学生、教職員を対象とした受講無料の公開講座です。

日 時：平成30年11月21日（水）18：00～19：30

場 所：山形大学小白川キャンパスA6（基盤教育2号館）222教室

受講料：無料（申し込み不要）

3. 山形大学農学部研究シーズ説明会・ビジネスマッチを開催します

どなたでも参加できますので、ビジネスパートナーとして相談できる教員を知りたい方だけでなく、農学部で行っている研究について興味のある方も是非この機会にご利用下さい。

日 時：平成30年11月26日（月） 研究シーズ説明会 13：00～14：00

ビジネスマッチ 14：00～

場 所：鶴岡キャンパス 農学部会議室（1号館2F）

参加費：無料（要予約）

4. 庄内スマート・テロワール豊穡感謝祭を開催します

平成28年4月から設置した寄附講座 食料自給圏「スマート・テロワール」形成講座について、プロジェクトや開発中の加工品の紹介、地産地消の推進に向けた意見交換会などを行います。

日 時：平成30年11月27日（火）13：30～18：00

場 所：グランド エル・サン クリスタルホール（鶴岡市東原町17-7）

参加費：無料（要申込み）

5. 山形在来作物研究会公開フォーラム2018開催のお知らせ

山形在来作物研究会が毎年開催している公開フォーラム。今年は、「たねとりのわざー自家採種文化の継承を考えるー」をテーマに、山形大学農学部との共催で開催します。

日 時：平成30年11月17日（土）13：30～16：30

場 所：マリカ市民ホール（鶴岡市末広町3-1 鶴岡駅前マリカ西館3F）

参加費：無料（申し込み不要）

※裏面へ続く

6. 講演会『「はやぶさ2」のすべて』を開催します

小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星「リュウグウ」に到着し、その活動に注目が集まっています。小さな天文学者の会と山形大学理学部の共催で、「はやぶさ2」チームの寺菌淳也准教授の講演会を開催します。

日 時：平成30年12月1日（土）14：00－16：00

場 所：山形大学理学部 ふすまホール（S401講義室）

参加費：小学生以上200円、未就学児は無料。

7. 大学入学共通テスト導入に向けた平成30年度試行調査（プレテスト）の取材について

2020年度から現行の「大学入試センター試験」に代わる新たなテストとして導入される「大学入学共通テストのプレテスト」が全国で実施されます。本学では小白川キャンパス、米沢キャンパス、鶴岡キャンパスの3会場で実施します。取材を希望される場合は、11月8日（木）15時までに各試験場担当者にご連絡願います。

8. やまがた夜話の開催について

大学コンソーシアムやまがたでは、それぞれの得意分野で活躍している第一人者の方からお話ししていただく「やまがた夜話」を開催しています。12月は「健康長寿への道しるべ」をテーマに山形県立保健医療大学名誉教授の内田勝雄氏による講演を3回にわたって開催します。

※これまでの定例会見でお知らせしたもので、開催が迫っているイベント

◎ チェリスト・指揮者の鈴木秀美氏による学生の公開レッスン

日時：平成30年11月13日（木）18：30～

場所：山形大学文化ホール

◎ フードリテラシーシンポジウム「世界の食育の先進事例に学ぶ」

日時：平成30年11月17日（土）13：00～17：45

場所：小白川キャンパスA1（基盤教育1号館）112号教室

平成30年（2018年）11月8日

「科学で東北を盛り上げ隊！@石巻」を開催

【本件のポイント】

- 東日本大震災から7年が経過するもいまだに復興の道半ばです。山形大学 SCITAセンター^(※1)では、子どもたちに科学の楽しさと不思議さを体験してもらうことで少しでも笑顔を届けたいという思いで、科学イベントを企画
- 平成23年度から宮城県石巻市や福島県いわき市で開催しており、今回で13回目
- 山形大学SCITAセンター学生スタッフ、東北大学、NPO法人ガリレオ工房等多くの団体がブースでの実験、サイエンスショーを実施します。



【概要】

山形大学 SCITA センターでは、平成 23 年度に独立行政法人 科学技術振興機構の「科学コミュニケーション連携推進事業『地域ネットワーク支援』」の採択を受け、「科学で東北を盛り上げ隊！」の活動を開始しました。平成 24 年度には文部科学省委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」に採択^(※2)され、平成 27 年度まで被災地での科学体験教室を実施してきましたが、採択事業終了後も引き続き山形大学 SCITA センター学生スタッフや「やまがた未来科学プロジェクト」の『科学の花咲かせ隊』のスライム・クラゲ・蔵王の各マイスターが中心となって、活動を継続しています。今回で通算 13 回目となりますが、参加団体は山形大学だけでなく、NPO 法人ガリレオ工房、東北大学、山形県立博物館など、回を重ねるごとに増加しており、内容も充実しています。

【内容】

- 開催日時：平成30年11月18日（日） 10時～15時
開催場所：石巻市 こもればの降る丘遊楽館（石巻市北村字15-1）
内 容：参加者に各ブースや、サイエンスショーで科学体験してもらいます。
- ・マジックカード、サイエンスショー（SCITAセンター学生スタッフ）
 - ・のびるスライム・光るスライム、（スライムマイスター）
 - ・クラゲタッチ（クラゲマイスター）
 - ・植物の葉のつくり（蔵王マイスター）
 - ・植物の不思議（山形県立博物館）
 - ・ゆらゆらくるくる宙に浮くクリップ、サイエンスショー（NPO法人ガリレオ工房）
 - ・ストロー笛、アンドロメダファイト宇宙に触れるカードバトル（東北大学）

他 多数の団体

【申込方法等】 直接会場にお越しください。（参加料 無料）

※1 山形大学 SCITA センターは、理科学習の普及活動を促進するための本学独自の「やまがた未来科学プロジェクト」に基づき、科学的思考能力を備えた将来の山形あるいは日本を支える人材を育成する目的で設置されました。小学生から大人まで、全県民を対象に開催する体験型の科学実験教室プログラムイベントを提供して昨年は約10,000人の方に参加いただきました。

※2 「地域コミュニティ再生を支援する山形大学推進委員会」として委託され、SCITA センターでは、宮城県塩竈市・石巻市等の復興支援のため、被災地の小・中・高校生等を対象とした科学体験等の支援を行いました。

お問い合わせ
山形大学 SCITA センター（棚井）
電話 023-628-4517

参加
無料

科学で東北を

子どもから大人まで、科学に集う、サイエンスフェスティバル!

盛り上げ隊! @石巻

♪小さなお子様は保護者同伴でご参加ください♪

2018年

11月18日

10:00~15:00

会場:こもれびの降る丘 遊楽館
(石巻市北村字前山15-1)

★実験ブース紹介★

☆「ゆらゆら・くるくる宙に浮くクリップ」
昭和女子大学with ガリレオ工房

☆「のび～るスライム」
光るスライムであそぼう
やまがた『科学の花咲く』プロジェクト スライムマイスター

☆「じょうずに鳴るかな? ストロー笛」
東北大学大学院理学研究科・理学部広報サポーター

☆「東京学芸大学附属高等学校その1
『すみ電池』をつくってみよう」
東京学芸大学附属高等学校

☆「東京学芸大学附属高等学校その2
早く緑色にしてよ～」
東京学芸大学附属高等学校

☆「植物の葉のつくりをみてみよう」
やまがた『科学の花咲く』プロジェクト 蔵王マイスター

☆「アンドロメダファイト
～宇宙に触れるカードバトル～」
東北大学理学研究科天文学専攻

☆サイエンスショー☆

「Let's理科読 くうき」
NPO法人ガリレオ工房 土井美香子

「水素は未来のエネルギー」
山形大学教授 栗山恭直

「わくわくドキ
化学実験クイズショー」
東京学芸大学附属高等学校

「光のサイエンスショー」
山形大学SCITAセンター学生スタッフ

☆「絵が消える!?マジックカードを作ろう!」
山形大学SCITAセンター学生スタッフ

☆「植物の不思議『空飛ぶ種をつくってみよう』」
山形県立博物館

☆「リングキャッチャーで遊ぼう」
科学講座研究会

☆「モーターをつくってみよう」
Science & Technology for All

☆「クラゲふれあいコーナー」
やまがた『科学の花咲く』プロジェクト クラゲマイスター

☆「カラフルマジック」
東北芸術工科大学教育アートプロジェクト

☆「Ooho」
宮城県石巻高等学校

主催 やまがた『科学の花咲く』プロジェクト (山形大学)
共催 東北大学理学部・大学院理学研究科

後援 石巻市教育委員会、東松島市教育委員会、女川町教育委員会、
公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 東京応化科学技術振興財団、
鶴岡市立加茂水族館、河北新報社、田宮印刷(株)、山形大学校友会

■問合せ先 ☎023-628-4506

山形大学SCITAセンター内
<http://www.yamagata-u.ac.jp/scita/chiiki/>

平成30年（2018年）11月8日

保健管理センター公開講座のご案内

【本件のポイント】

- ピロリ菌と胃の病気について、保健管理センターの医師が説明します
- 胃がんと内視鏡治療についても動画を交えて解説
- 一般市民、学生、教職員を対象とした受講無料の公開講座です



【概要】

山形大学保健管理センターでは、11月21日（水）に、公開講座「ピロリ菌と胃の病気」を開催します。ピロリ菌は胃がんの原因であることが知られています。この公開講座では、医師の伊藤ななみ准教授（保健管理センター担当）が、その感染原因、診断方法、感染により起こる病気及びその治療について説明します。また、早期の胃がんで施行される内視鏡的な治療についても動画を交えた解説を行います。定員は100名です。事前の申し込みは不要ですので、直接会場にお越しください。

【平成30年度保健管理センター公開講座】

日 時：平成30年11月21日（水） 18:00~19:30

場 所：山形大学小白川キャンパスA6（基盤教育2号館）222教室

日 時：「**ピロリ菌と胃の病気**」

講 師：山形大学学術研究院准教授 伊藤ななみ（保健管理センター担当）

対 象：一般・大学生・大学教職員

募 集：100名

受講料：無料

その他：事前申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

内容に関するお問い合わせは、FAXにてお願いいたします。

お問い合わせ

山形大学保健管理センター事務局

電話 023-628-4153 FAX 023-628-4157

メール gshosastu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成30年度 山形大学保健管理センター 公開講座

ピロリ菌と胃の病気

- ピロリ菌について
ピロリ菌は胃がんの原因であることが知られています。ピロリ菌の感染原因、診断方法、感染により起こる病気（胃潰瘍、リンパ腫、胃がん他）について概説します。
- ピロリ菌の治療について
ピロリ菌に感染していると内服治療が必要となります。内服治療の必要性和治療後の続発疾患の減少についてデータを踏まえ説明します。
- 胃がんと内視鏡治療
早期の胃がんで行われる内視鏡的な治療について動画を交えて、最近の治療について説明します。

奮ってご参加ください！



【日時】 11月21日（水） 18:00~19:30

【場所】 山形大学小白川キャンパス 基盤教育2号館222教室

【対象】 一般、大学生、大学教職員 先着100名

【受講料】 無料

【講師】 保健管理センター・准教授 伊藤 ななみ

【その他】 事前申し込みは不要です。直接会場にお越しください。
内容に関する照会は、FAXにてお願いいたします。

【担当】 山形大学保健管理センター事務局

☎ 023-628-4153 FAX 023-628-4157

Eメール gshosastu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学農学部 研究シーズ説明会 ・ビジネスマッチ

日時：平成30年11月26日（月）

13:00～14:00 研究シーズ説明会

14:00～ビジネスマッチ

会場：山形大学農学部会議室1号館2階

参加費：無料（要予約）

【第1部 研究シーズ説明会】

農学部の研究シーズについて教員がわかりやすく説明します。
また、産学官連携を実際に行なっている会員様より具体的事例についてお話しします。

【第2部 ビジネスマッチ】

教員との面談形式によりマッチングの可能性を探ります。

※面談は事前予約となりますが、上記日時以外でも面談は可能です。商談のみならず、研究内容に興味のある方もお気軽にご相談ください。



研究シーズとは？

シーズとは seeds（種）のことで、“研究シーズ”とは新たな産業を生み出す種や芽となる研究、事業化が見込まれる開発研究のことを言います。農学部では日頃の研究成果を地域社会に発信するために『農学部研究シーズ集』を作成しておりますが、当日はその内容をよりわかりやすく説明いたします。ビジネスパートナーとして相談できる教員を知りたい方のみならず、農学部で行なっている研究について興味のある方も是非この機会にご利用下さい。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

農学部地域産学官連携協議会平成30年度産学官連携促進・情報提供事業

お問い合わせ先：山形大学農学部企画広報室

TEL0235-28-2910 FAX0235-28-2836

E-mail: nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

FAXでお申し込みの方

0235-28-2836

メールでお申し込みの方

nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

申込締切
11/20 (火)

山形大学農学部研究シーズ説明会・ビジネスマッチ

日時：平成30年11月26日(月) 13:00～14:00

会場：農学部会議室

参加ご希望の方は下記必要事項をFAX、E-mailまたは、お電話にてご連絡ください。

参加申込書	
企業名	
役職名 氏名	
住所	〒
E-mail	
TEL FAX	

◆該当する方に丸を付けてご回答ください。

研究シーズ説明会	:	参加	参加しない
ビジネスマッチ	:	参加	参加しない
※ビジネスマッチは事前に教員との調整がございますので、ご相談内容や面談希望教員がお決まりの場合はお知らせ願います。当日の面談が叶わない場合は、後日調整させていただくことも可能ですのでご相談ください。			



平成30年度

庄内スマート・テロワール

豊穰感謝祭

地域ブランドのおいしい加工食品の開発と地産地消の推進に向けて



スマート・テロワールはカルビー株式会社 元相談役 故松尾雅彦氏が、著書「スマート・テロワール」で提唱している農村の未来像であり、その取組の一つは、耕畜連携のもと、地域に愛される”おいしい加工食品”を開発し、地域の皆さまに提供すること（地産地消）にあります。本プロジェクトも3年目を迎え、開発した畜肉加工品は地元スーパーにて定番販売を始めました。本年度は豊穰感謝祭として畜肉加工品に加え、附属農場や月山山麓で収穫した大豆・馬鈴薯等の厳選素材を用いて開発中の加工食品の紹介、地産地消の推進に向けた意見交換会、開発中の加工食品の試食会を開催いたします。



11/27 (火)
13:30 ~ 18:00

グランド エル・サン
クリスタルホール
(山形県鶴岡市東原町 17-7)

【基調講演】

- スマート・テロワールにおける加工食品の意義
一般社団法人 スマート・テロワール協会 会長 中田 康雄 氏
- 食を通じた地域活性化の意義—東信州の事例から—
長野大学環境ツーリズム学部 教授 古田 陸美 氏

【スマート・テロワール実証プロジェクトの紹介】

- パネルディスカッション
- 地域ブランドのおいしい加工食品の開発と地産地消の推進に向けて -
- 厳選素材を用いた農畜産物の加工食品の試食会



お問い合わせ
お申し込み

【申込締切り】平成30年11月22日(木)

【申込み先】「庄内スマート・テロワール」豊穰感謝祭 事務局
(山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター内)

【参加費】■無料

【参加申込】※FAX またはメールにて

■FAX:0235-24-2270 山形県鶴岡市高坂字古町 5-3

■E-mail:houjyou@ml.tr.yamagata-u.ac.jp

主催 山形大学農学部

共催 一般社団法人 スマート・テロワール協会 鶴岡市 一般社団法人 山形県農業会議

協力 株式会社東北ハム / 株式会社窪畑ファーム / 庄内豆腐株式会社 / 合資会社鷺田民蔵商店 / ハナサ醤油株式会社 / 株式会社主婦の店鶴岡店 / 株式会社一屋 (順不同)

講演会内容



13:30 ~ 13:40	開会の挨拶 山形大学 学長 小山清人 氏
13:40 ~ 14:50	基調講演 スマート・テロワールにおける加工食品の意義 一般社団法人スマート・テロワール協会 会長 中田康雄 氏
	食を通じた地域活性化の意義－東信州の事例から 長野大学環境ツーリズム学部 教授 古田睦美 氏
14:50 ~ 15:30	スマート・テロワール実証プロジェクトの取組紹介 1. 耕畜連携システムで開発した加工食品 山形大学学術研究院 教授 浦川修司 氏
	2. 庄内地域における加工食品の消費動向 山形大学学術研究院 助教 栞原良樹 氏
〈休憩:10分〉	
15:40 ~ 17:00	パネルディスカッション ～地域ブランドのおいしい加工食品の開発と 地産地消の推進に向けて～ パネラー: 農畜産物加工メーカー、地元スーパー、古田睦美氏、中田康雄氏、浦川修司氏 コーディネーター: 山形大学学術研究院 教授 小沢互氏
17:00 ~	厳選素材を用いた農畜産物の加工食品の試食会

参加申込書

FAX送信先: **0235-24-2270** (このまま送信ください。)

ふりがな	
参加者氏名	
会社・ご所属	
住所	
電話番号	

申込締切り: 平成30年11月22日(木)

メールでもお申込みいただけます。下記のメールにてお知らせください。

✉ : houjyou@ml.tr.yamagata-u.ac.jp

* お知らせいただきました事項について、本講演会の開催目的以外で使用することはありません。

お問い合わせ先

「庄内スマート・テロワール」豊穰感謝祭事務局
(山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター内)
〒997-0369 山形県鶴岡市高坂字古町5-3
TEL:0235-24-2278

平成30年（2018年）11月8日

山形在来作物研究会公開フォーラム2018開催のお知らせ ～たねとりのわざ－自家採種文化の継承を考える～

【本件のポイント】

- 在来品種の特性を維持するためには、作物の種類によって異なる採種管理はもちろん、採種者の経験とセンスも不可欠で、そこに在来作物の継承の難しさがあります。
- 採種技術の専門家と在来作物を伝統的に栽培してきた農家をお招きし、自家採種の世界と一緒に学び、在来作物の継承に向けた今後の取り組みや解決すべき課題について考えます。



【概要】

山形在来作物研究会は2003年11月30日の発足以来毎年種々のテーマでフォーラムを開催しています。今年のテーマは、「たねとりのわざ－自家採種文化の継承を考える－」。山形大学農学部との共催で今月11月17日（土）13:30～16:30、鶴岡駅前マリカ市民ホールにてチラシの内容の公開フォーラムを行います。予約は不要で、入場も無料です。どなたでも参加できます。

内容は2部構成となっており、前半は（一般財団法人）広島県農業ジーンバンクの船越建明氏をお招きして「野菜の種子はこうして採ろう」と題して基調講演を行っていただきます。ジーンバンクの活動や自家採種法の実際についてお話しいただく予定です。後半は、山形県内で在来作物の栽培を行っている3名方をお迎えし、当研究会会長の江頭宏昌氏がコーディネーターとなり、パネルディスカッションを行います。おもに、山形赤根ほうれん草、畔藤キュウリ、だだちゃ豆、温海かぶについて、その採種技術をとりあげ、在来作物継承の難しさ、奥深さを知っていただきたいと思います。ご関心のある方はぜひ足をお運び下さい。

【山形在来作物研究会公開フォーラム】

- ◆日時： 2018年11月17日（土）13:30～16:30
- ◆会場： マリカ市民ホール（山形県鶴岡市末広町3-1 鶴岡駅前マリカ西館3F）
- ◆対象： 一般
- ◆入場： 無料（申込不要）
- ◆内容： ≪基調講演≫ 「野菜の種子はこうして採ろう」
（一財）広島県農業ジーンバンク 船越建明氏

≪パネルディスカッション≫ 「たねとりのわざ」

山形赤根ほうれん草 山形市採種農家 柴田吉昭氏
畔藤きゅうり 白鷹町採種農家 新野惣司氏
だだちゃ豆 山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター元准教授 赤澤経也氏
温海かぶ 山形在来作物研究会会長 江頭宏昌氏（学術研究院教授・植物遺伝資源学）
コーディネーター 江頭宏昌氏

お問い合わせ

山形大学学術研究院 准教授 小笠原宣好（電話 0235-28-2830）
山形大学学術研究院 教授 平 智（電話 0235-28-2829）
山形大学学術研究院 教授 江頭 宏昌（電話 0235-28-2852）

山形在来作物研究会公開フォーラム2018

たねとりのわざ

— 自家採種文化の継承を考える —

在来品種の生産、流通、消費に関心を持つ人が増えてきたのは喜ばしいことですが、生産の根幹を支える採種技術はどうでしょうか？在来品種の特性を維持するためには、作物の種類によって異なる採種管理はもちろん、採種者の経験とセンスも不可欠です。そこに在来作物の継承の難しさがあると同時に、自家採種には奥深い世界があります。

《基調講演》

野菜の種子はこうして採ろう

(一財) 広島県農業ジーンバンク

船越建明氏

《パネルディスカッション》

たねとりのわざ

山形赤根ほうれん草

山形市採種農家 柴田吉昭氏

くろふじ
畔藤きゅうり

白鷹町採種農家 新野惣司氏

だだちゃ豆

山形大学農学部附属

やまがたフィールド科学センター元准教授 赤澤経也氏

温海かぶ

山形在来作物研究会会長 江頭宏昌氏

コーディネーター 江頭宏昌氏

日時：2018年11月17日（土）13:30～16:30

会場：マリカ市民ホール（鶴岡駅前マリカ西館3F）

入場は無料で申し込みの必要はありません。

主催：山形大学農学部・山形在来作物研究会

お問い合わせ：山形在来作物研究会

〒997-8555山形県鶴岡市若葉町1-23山形大学農学部内

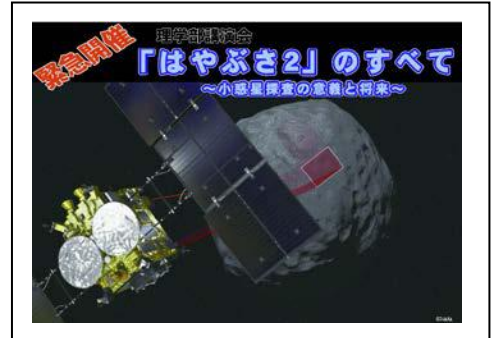
電話0235-28-2830(小笠原), 2829(平), 2852(江頭)

平成30年（2018年）11月8日

講演会『「はやぶさ2」のすべて』を開催します ～小惑星探査の意義と将来～

【本件のポイント】

- 小惑星探査機「はやぶさ2」が目標天体である小惑星「リュウグウ」に到着し、その活動に注目が集まっている。
- 「はやぶさ2」チームの寺菌淳也准教授をお招きして講演会を開催する。
- 探査機のミッションやこれからの計画などを一般向けに解説して頂く。



【概要】

2014年12月に打ち上げられた小惑星探査機「はやぶさ2」。小惑星「リュウグウ」への着陸とサンプル採取を目指し、太陽系の起源や進化、生命の原材料物質を調べる計画です。順調な航行を経て2018年の6月にリュウグウへ無事にたどり着き、これまでに鮮明な表面写真の数々を撮影しています。その後も小型ローバー「ミネルバII」や着陸機「マスコット」（独・仏）をリュウグウに投下させることに成功したり、着陸時の目印となるターゲットマーカーの投下に成功したりしています。2019年1月以降には、小惑星へのタッチダウンなども予定されており、今後も目が離せません。本講演では「はやぶさ2」チームの寺菌淳也・会津大学准教授をお招きし、科学目標や探査機について、そして小惑星研究の将来に関する話題などをわかりやすく、詳しく解説して頂きます。

【開催概要】

開催日 12月1日（土）
場 所 山形大学理学部 ふすまホール（S401 講義室）
時 間 14：00～16：00 開場13：30
休憩と質問コーナーを含みます。
講 師 会津大学准教授 寺菌淳也
参加費 小学生以上200円、未就学児は無料。
主 催 NPO 法人小さな天文学者の会
共 催 山形大学理学部
協 賛 株式会社ニクニ
※公共交通機関でのご来場にご協力ください。

【講師】

寺菌淳也(てらそのじゅんや) 会津大学企画運営室(兼)先端情報科学研究センター(CAIST)准教授
1995年 東京大学大学院理学系研究科地球惑星物理学専攻(博士課程)中退
1995年 (財)日本宇宙フォーラム
1995年 宇宙開発事業団技術研究本部未来宇宙システム研究室
2003年 宇宙航空研究開発機構広報部
2007年より会津大学

お問い合わせ

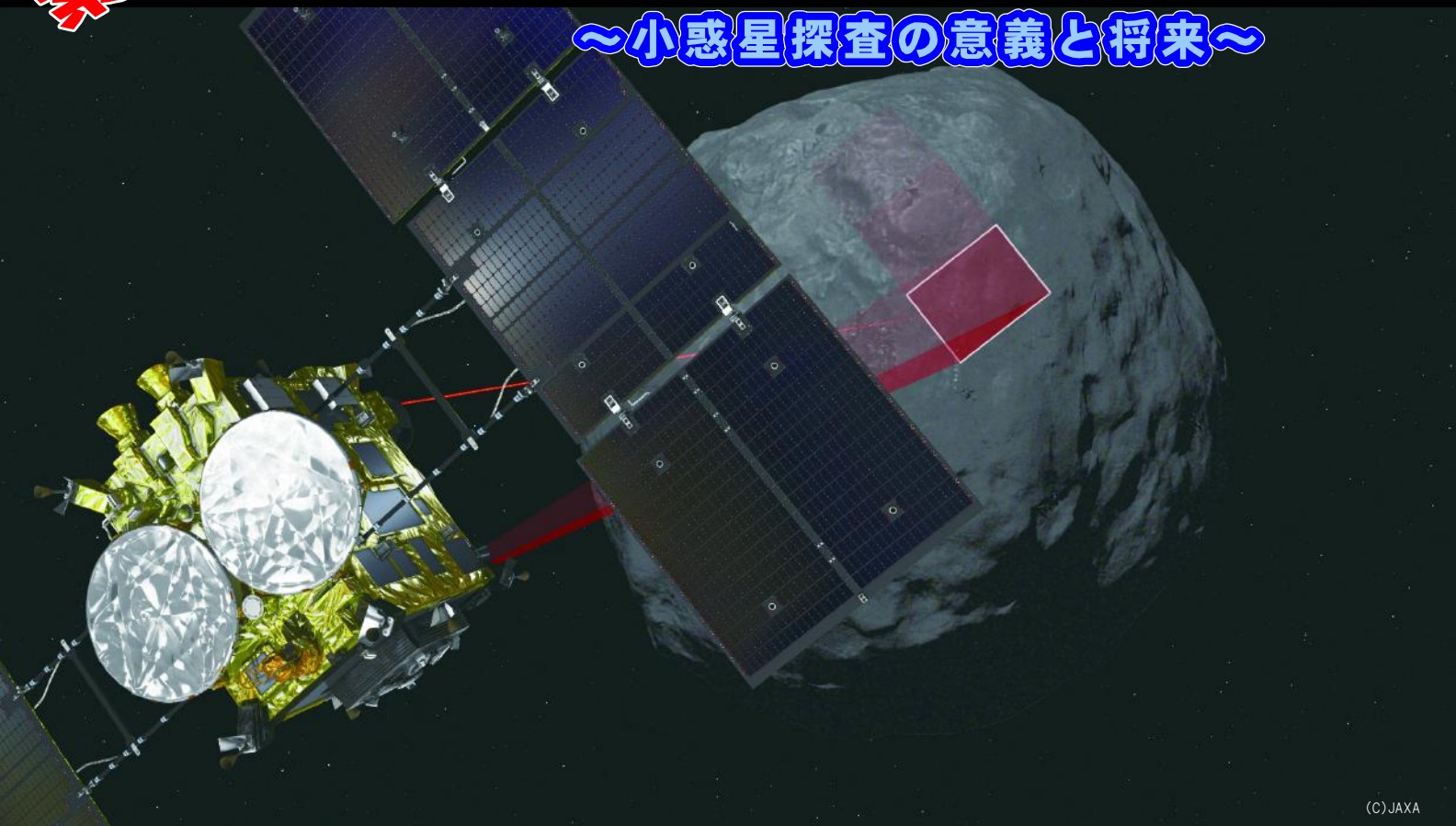
学術研究院准教授（ガンマ線天文学）・NPO 法人 小さな天文学者の会 中森健之
TEL 023-628-4050（インフォメーションセンター） メール yao-yakuin@sola.or.jp

緊急開催

理学部講演会

「はやぶさ2」のすべて

～小惑星探査の意義と将来～



(C) JAXA

2018年12月1日(土)

14:00～16:00 (開場 13:30)

途中休憩と質問コーナーを含みます

◆場所 山形大学理学部
ふすまホール (S401 講義室)

※駐車場はありますが台数に制限があります
公共の交通機関でのご来場にご協力ください

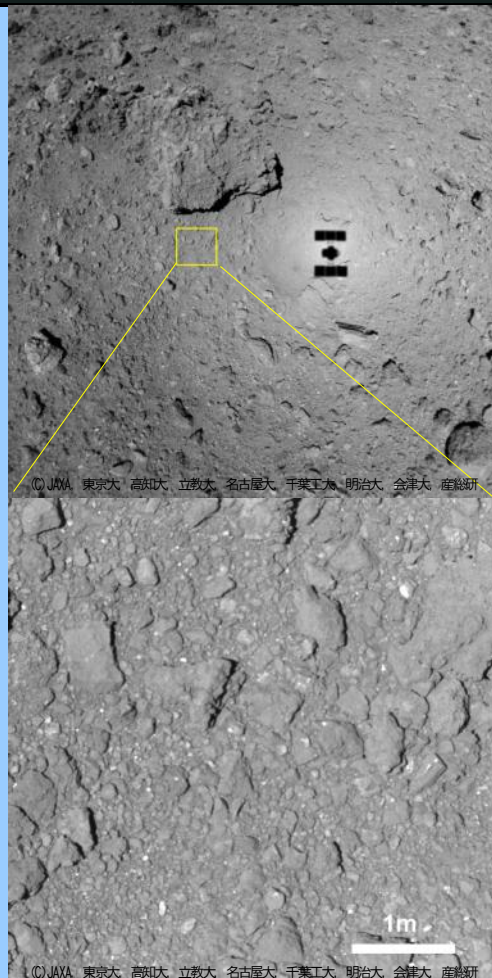
◆参加費
200円(未就学児は無料)

※NPO法人小さな天文学者の会 会員証の提示で
200円引きの会員特典が適用されます

◆問い合わせ先

山形県山形市小白川町 1-4-12 山形大学
インフォメーションセンター
電話：023-628-4050 (月-金 9:00-17:00)
Eメール：yao-yakuin@sola.or.jp

◆講師
寺園 淳也(てらその じゅんや)
会津大学
企画運営室(兼)
先端情報科学研究センター(CAIST)准教授



(C) JAXA, 東京大, 高知大, 立教大, 名古屋大, 千葉工大, 明治大, 会津大, 産総研



NIKUNI



主催 NPO法人小さな天文学者の会

共催 山形大学 理学部

協賛 株式会社ニクニ



平成30年11月8日

大学入学共通テスト導入に向けた 平成30年度試行調査（プレテスト）の取材について

【本件のポイント】

- 山形大学では、小白川キャンパス、米沢キャンパス、鶴岡キャンパスの3会場で実施します。
- 取材される場合は、11月8日（木）15時までに各試験場担当者に御連絡願います。

【概要】

2020年度から現行の「大学入試センター試験」に代わる新たなテストとして導入される「大学入学共通テスト」の平成30年度試行調査（プレテスト）が全国の大学入試センター試験利用大学を会場として実施され、本学では、小白川地区試験場（小白川キャンパス）、工学部試験場（米沢キャンパス）及び農学部試験場（鶴岡キャンパス）にて実施します。

小白川地区試験場では、11月10日（土）・11日（日）に実施し、工学部試験場及び農学部試験場では、11月10日（土）に実施します。

取材に当たっては、事前に各試験場責任者の許可を得た上で行っていただきますよう試行調査（プレテスト）の円滑な実施に御協力をお願いします。

【小白川地区試験場（小白川キャンパス）】

受検者数：200人

実施日及び実施教科：

11月10日（土）

- 地理歴史、公民
（「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」）
- 国語（「国語」）
- 外国語（「英語（筆記 [リーディング]）」、「英語（リスニング）」）

11月11日（日）

- 理科①（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）
- 数学①（「数学Ⅰ・数学A」）
- 数学②（「数学Ⅱ・数学B」）
- 理科②（「物理」「化学」「生物」「地学」）

【工学部試験場（米沢キャンパス）・農学部試験場（鶴岡キャンパス）】

受検者数：443人（工学部試験場：312人、農学部試験場：131人）

実施日及び実施教科：

11月10日（土）「国語」、「数学①」

※試験場での取材・撮影のお申し込みは、11月8日（木）15時までに各試験場担当者までお申し込み願います。

お問い合わせ

エンrollment・マネジメント部入試課
矢萩

TEL 023-628-4142

山形大学小白川地区試験場における

大学入学共通テスト導入に向けた平成30年度試行調査(プレテスト)の取材について

〔2020年度から現行の「大学入試センター試験」に代わる新たなテストとして導入される「大学入学共通テスト」の試行調査(プレテスト)の円滑な実施に御協力をお願いします。〕

山形大学

1 本学における試行調査実施内容

本学が設置する小白川地区試験場(受検者数:200人)では、「B日程」として次の日程で試行調査を実施します。

11月10日(土)

- 地理歴史, 公民
(「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」)
- 国語(「国語」)
- 外国語(「英語(筆記[リーディング])」, 「英語(リスニング)」)

11月11日(日)

- 理科①(「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」)
- 数学①(「数学Ⅰ・数学A」)
- 数学②(「数学Ⅱ・数学B」)
- 理科②(「物理」「化学」「生物」「地学」)

2 報道関係の窓口

報道関係者への対応は、本学の試験実施本部の広報担当者が行いますので、試行調査に関する問合せ等については、エンロールメント・マネジメント部入試課長(☎023-628-4140)をお願いします。

3 試験場での取材

試験場での取材は、あらかじめ許可を得てください。

取材の際は、各社記者証を提示し、腕章等で報道関係者であることを明示願います。

4 試験室内での撮影

試験室内での撮影は、11月10日(土)のみとし、試験場責任者の指定する職員の立会いのもとで行ってください。

- (1) 撮影に当たっては、11月8日(木)15時(厳守)までに小白川地区試験場責任者の了承を得てください。(連絡先:小白川キャンパス事務部入試課 ☎023-628-4072)
- (2) 11月10日(土)は、12時10分までに、試験場となる建物【基盤教育2号館】の玄関前に集合してください。
- (3) 本学が指定する試験室に限り、11月10日(土)の「国語」のテスト開始前にテレビ、写真の撮影を許可します。
- (4) 試験室における撮影は、準備時間を含め、12時15分から10分以内とします。前半5分で準備、後半5分での撮影を目安とします。必ず12時25分には退室してください。
- (5) 撮影に当たっては、受検者に動揺を与えないようにするとともに、必ず職員の指示に従ってください。
- (6) 受検者が特定できるような撮影は、行わないでください。
- (7) 問題を映す、問題の内容に触れるコメントの報道等、問題の内容が分かるような報道を下記7の問題等の発表時間前に行わないでください。
- (8) 本学が指定する試験室以外への立入りはできません。

5 不測の事態発生時の取材

不測の事態が発生してテストが中止された場合などにおいても、必ず試験場責任者の指定する職員の指示に従ってください。

6 受検状況のお知らせ

当日の受検状況（「受検者数」（※1）及び「実際に受検した者の人数」（※2））は、11月10日（土）の受検状況については、11月10日（土）19時（予定）に、11月11日（日）の受検状況については、11月11日（日）18時30分（予定）に、エンロールメント・マネジメント部入試課から報道各社へFAX送信予定ですので、試行調査（プレテスト）時間中の問合せはご遠慮ください。

なお、FAX送信時刻はあくまでも予定ですので、あらかじめ御承知置き願います。

※1 「受検者数」は、山形大学に割り当てられた受検者数。

※2 「実際に受検した人数」は、「受検者数」から、欠席者及び無登録者（B日程のうち、受検パターンにより受検しない者）を差し引いた数値。

7 問題及び正解等の発表

問題及び正解等について、地理歴史、公民、国語、外国語については11月10日（土）19時00分（予定）に、理科①、数学①、数学②、理科②については11日（日）18時30分（予定）に、大学入試センターのホームページにおいて発表します。

8 その他

(1) 受検者へのインタビューは、本人及びその保護者に確認の上で行ってください。具体的な問題内容に触れるコメント等は、上記7の問題等の発表時刻以降に報道することとし、それ以前に行わないでください。

(2) 本試行調査の詳細については、大学入試センターにお問合せください。

（連絡先：大学入試センター総務企画部総務課広報係 ☎03-5478-1316）

山形大学工学部試験場及び農学部試験場における 大学入学共通テスト導入に向けた平成30年度試行調査(プレテスト)の取材について

〔2020年度から現行の「大学入試センター試験」に代わる新たなテストとして導入される「大学入学共通テスト」の試行調査(プレテスト)の円滑な実施に御協力をお願いします。〕

山形大学

1 本学における試行調査実施内容

本学が設置する工学部試験場(受検者数:312人)及び農学部試験場(受検者数:131人)では、11月10日(土)に「A日程」にて試行調査を実施し、「国語」と「数学①」の2教科のみを実施します。

2 報道関係の窓口

報道関係者への対応は、本学の試験実施本部の広報担当者が行いますので、試行調査に関する問合せ等については、エンrollment・マネジメント部入試課長(☎023-628-4140)をお願いします。

3 試験場での取材

試験場での取材は、あらかじめ許可を得てください。

取材の際は、各社記者証を提示し、腕章等で報道関係者であることを明示願います。

4 試験場建物の撮影

試験場建物の撮影は、11月10日(土)のみとし、試験場責任者の指定する職員の立会いのもとで行ってください。

(1) 撮影に当たっては、11月8日(木)15時(厳守)までに各試験場責任者の了承を得てください。

・工学部試験場責任者 … 工学部副学部長

(連絡先:米沢キャンパス事務部学務課入試担当 ☎0238-26-3013)

・農学部試験場責任者 … 農学部長

(連絡先:鶴岡キャンパス事務室学務担当 ☎0235-28-2808)

(2) 工学部試験場及び農学部試験場では、試験室内での撮影は禁止し、試験場建物入口のみ撮影を許可します。

(3) 撮影に当たっては、受検者に動揺を与えないようにするとともに、必ず職員の指示に従ってください。

(4) 受検者が特定できるような撮影は、行わないでください。

(5) 問題を映す、問題の内容に触れるコメントの報道等、問題の内容が分かるような報道を下記7の問題等の発表時間前に行わないでください。

(6) 本学が指定する場所以外の立ち入り及び撮影・取材等は禁止します。

(7) 許可する撮影時間帯などは、各試験場により異なりますので、各試験場にお問合せください。

5 不測の事態発生時の取材

不測の事態が発生してテストが中止された場合などにおいても、必ず試験場責任者の指定する職員の指示に従ってください。

6 受検状況のお知らせ

当日の受検状況(「受検者数」(※1)及び「実際に受検した者の人数」(※2))は、11月10日(土)19時(予定)にエンrollment・マネジメント部入試課から報道各社へFAX送信予定ですので、試行調査(プレテスト)時間中の問合せはご遠慮ください。

なお、FAX送信時刻はあくまでも予定ですので、あらかじめ御承知置き願います。

※1 「受検者数」は、山形大学に割り当てられた受検者数。

※2 「実際に受検した人数」は、「受検者数」から、欠席者及び無登録者(B日程のうち、受検パターンにより受検しない者)を差し引いた数値。

7 問題及び正解等の発表

問題及び正解等は、「国語」については、大学入試センターのホームページにおいて11月10日（土）19時00分（予定）に発表します。

「数学①」については、翌日にB日程において同一の問題を使用して試行調査を実施することから、同ホームページにおいて11月11日（日）18時30分（予定）に発表しますので、公表日時にご注意願います。

8 その他

(1) 受検者へのインタビューは、本人及びその保護者に確認の上で行ってください。具体的な問題内容に触れるコメント等は、上記7の問題等の発表時刻以降に報道することとし、それ以前に行わないでください。

(2) 本試行調査の詳細については、大学入試センターにお問合せください。

（連絡先：大学入試センター総務企画部総務課広報係 ☎03-5478-1316）

平成30年

やまがた夜話

「健康長寿へのみちしるべ」

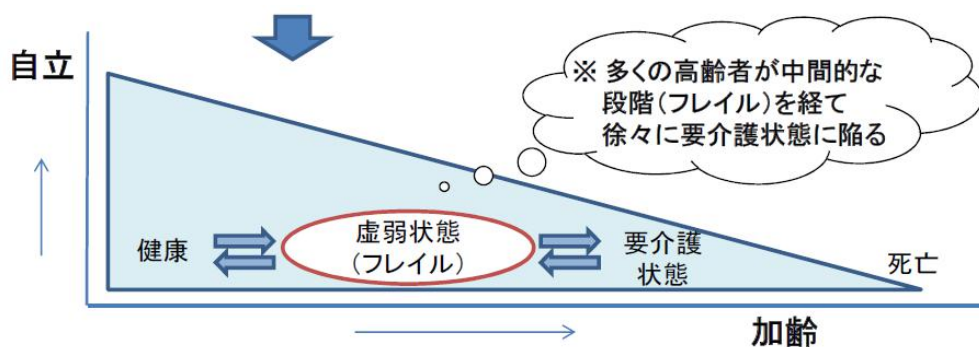
～生理学的エビデンス～

12月 6日(木) 健康寿命を決める因子

12月13日(木) 太りやすさ、太りにくさの科学

12月20日(木) フレイル、介護と進まないために

※時間はすべて18:30～19:30です。



高齢者の低栄養防止・重症化予防等の推進について(厚生労働省)

講師: 内田 勝雄 氏 (山形県立保健医療大学名誉教授)



会場 ゆうキャンパス・ステーション
(山形むらきさわビル1階)

アクセス 山形駅東口より徒歩1分

対象 高校生・学生・一般市民

お申し込み 電話又はチラシ裏面の参加
申込書に必要事項を記入の
上Fax, 郵送、メール等でお
申し込みください。

定員: 50名 **入場無料**

主催

大学コンソーシアムやまがた

お申込み
お問合せ

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

Tel: 023-628-4842 Fax: 023-628-4820 E-mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp





FAX:023-628-4820

大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:それぞれの夜話前々日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加希望日に☑、又は日付を○で囲んでください。 <input type="checkbox"/> 平成30年12月 6日(木) 講師: 内田 勝雄 氏 <input type="checkbox"/> 平成30年12月13日(木) 講師: 内田 勝雄 氏 <input type="checkbox"/> 平成30年12月20日(木) 講師: 内田 勝雄 氏
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	

- ・受講申込者が定員を超えた場合には、入場をお断りさせていただく場合がございます。
- ・この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

【お申込み・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp